

— 住学協同への実験 —

筑豊ゼミ研究会報 9月号

NPO 法人住学協同機構筑豊地域づくりセンター・筑豊ゼミ研究会報第 47 号 2017 年 9 月 10 日

9 月例会は 9 月 20 日(水)午後 7 時～9 時

○市民遺産研究会(4401 教室):

- ・ヨーロッパ(ベルギー・フランス)のボタ山視察報告(中山さん)
- ・25 期前後の「遠賀川水運関連遺産」調査の再確認

○古代のロマンに酔う研究会

9 月 21 日(木)午後 3 時 30 分～4 時 30 分 穂波公民館

- ①9 月 3 日の祭りの総括について。
- ②これからの活動について。

○飯塚(中心市街地)このままで委員会

9 月 26 日(火)午後 7 時 15 分～ 市民交流プラザ(あいタウン2F)

1. 街道まつり綱引大会について
2. 就活カフェ企画について
3. その他フリートーク

○住み続けたいまち・住んでみたいまち～勝手に提案研究会

9 月 25 日(月) 13:30～ まちあるき:新飯塚駅～遠賀川～アイタウン周辺～新飯塚周辺

16:30～ 会場:立岩公民館 集合:立岩公民館 13:00～受付(市民・学生)

10 月 2 日(月) 13:20～16:30 課題取り組み 会場:近畿大学産業理工学部(学生)

○つかこうへいと筑豊研究会

9 月例会は休会 次回は 10 月第 3 日曜となります。

○情報発信/データデザイン研究会(3 号館 3 階 3304-B:情報工房)

筑豊ゼミの運営委員が自主的にサイトへ投稿、更新ができるように講習を計画する。

○学生ビジネス研究会

コーヒープロジェクトは、オープンキャンパスに販売を目的に、準備と早急な商品完成を目指します。

筑豊ゼミ・研究会報告

市民遺産研究会

会長 白神 精一

嬉しいお知らせです。市民遺産研究会に、新たに平野さんと鈴木さんの女性二人が加わりました。お二人とも過去に研究会のメンバーとして活躍された方で、しばらくの健康チェックと充電期間を経ての再登場。心強い二人の加入により、市民遺産研究会は男性6名、女性4名の総勢10名となり、活動の輪も広がりそうです。

さて、新メンバーを加えての私たちの次なる目標は、以前からの念願である、「筑豊富士」と呼ばれる旧忠隈炭鉱の「ボタ山」登ることです。10月末を目途にボランティアガイドの方や関係者などの調整中です。

また、前回の研究会報告でお知らせした、ボタ山の歴史や形状(ドイツ式 or フランス式)を調べるためにヨーロッパを遊学中の、会員の中山英光さんの帰国報告も楽しみです。

「遠賀川古代祭り」や「つかこうへいと筑豊研究会」等、他研究会の活動にも興味は尽きず、「将棋ブームの立役者」藤井翔太四段の話から、地元嘉麻市出身の加藤一三九段の話題まで、真夏の例会は盛り上がりました。(山下記)

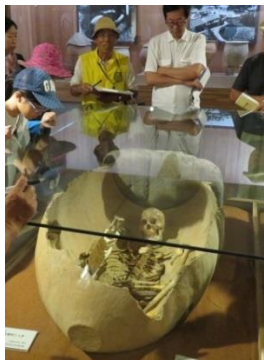
古代のロマンに酔う研究会

～遠賀川上流古代祭～ヒミコを捜そう～

会長 藤江 文雄

下記は実行委員会の報告ではありません。菊川個人による、無責任参加報告書です。(正式には来月号?)

8時30分、凄い人と車、祭りを準備する人でごった返している穂波公民館前。古代祭り盛大に開催されました。さすが藤江先生！感服しました。古代祭りの目玉企画の1つ、高島忠平さんが説明する「遺跡探訪-立岩遺跡」に参加。まず、飯塚歴史資料館で、出土品の前漢鏡、石包丁や銅戈の鑄型の説明を日有喜の会の新原さんに頂いた後、遺跡現場に向かいました。



堀田甕棺遺跡出土品



熊野神社



立岩神社

立岩遺跡は昭和8年に県道工事中に偶然見つかった約2000年前の弥生時代中期の遺跡、飯塚市「立岩・下方遺跡」から「石包丁製作跡」が発掘されました。そこでは、飯塚市庄司の笠置山から採取される輝緑凝灰岩から組織的大量に石包丁が製作されていました。立岩産の石包丁は、福岡・糸島、行橋、大分・宇佐、日田、佐賀・吉野ヶ里など北部九州一帯はもちろん、四国(愛媛県)でも見つかっています。

また、昭和9年、10年、14年に「立岩・焼ノ正遺跡」からは多数の石器や弥生式土器の他、青銅器の生産を物語る銅戈の砂岩の鑄型が発掘されています。この鑄型で作った銅戈と同型のもので、佐賀県唐津市、福岡県岡垣町、広島県安芸町で発見されています。

昭和38年、いよいよ吉野ヶ里遺跡の発掘で有名な、高島忠平さん(嘉穂高校郷土部・当時熊本大学学生)の登場です。高島さんが卒論のテーマを提出して帰郷したおり、嘉穂校郷土部の後輩たちと一緒に、ブルドーザーで崩された土壁から甕棺を発見したのが、前漢鏡10面の他、銅矛、銅戈、鉄剣、貝輪、管玉など、弥生中期を代表する遺跡(立岩・堀田甕棺遺跡)を発掘する端緒となりました。



38年当時の写真で熱弁をふるう高島忠平さんと写真をもつ嶋田光一さん

午後1時からの原田青夜さんの講演「ヒミコが歩いた道」に引き続き、2時嘉穂東高校の「御神楽」、2時15分「書道：游藝会」を楽しみました。パフォーマンス書道を生で見るのは初めて。

その後、12時半からの高島さんと島田さんの対談「遠賀川古代文化と邪馬台国」を拝聴。

高島忠平さんは、立岩遺跡出土の前漢鏡は、他の遺跡出土の前漢鏡に比べ、「各段に」質が高いことから考えて、博多の奴国経由ではなく、立岩の王の使節が遠賀川を下り、朝鮮に渡って朝貢交易をしていたと考えても、必ずしも不思議ではないと話されていました。

遠賀川水運は、石包丁や銅戈などの青銅器はもちろん、「前漢鏡」も運んでいたと考えても良いのです。(菊川記)



「書道：游藝会」



高島・嶋田対談



藤江実行委員長閉会の挨拶

飯塚（中心市街地）このままで委員会

～飯塚のまちについて何でも語ろう～

委員長 縄田 真照

2017年8月22日(火) 19時15分 市民交流プラザ 出席者9名

1. 10月22日街道まつり綱引大会について

今回は山笠トーナメントと一般トーナメントの2部構成。9月1日より受付開始。九工大の学生が一般トーナメントに出てくれるので、近大の学生にも依頼したらどうか。近大生が新流から出ているので、赤間事務局長に打診してみる。

2. 「就活カフェ」企画提案(長谷川先生より)

▶7月24日近大学生の最終報告会で提案されたの就活カフェを学生、企業、市役所との協働で企画・運営を目指す(別紙)。設立準備委員会を9月までに設立したい。今年度中にイベント「(仮)学生&企業フェス」の開催。学生目線での交流イベント。

▶就活カフェ単体で考えた場合、場所は新飯塚ということになりそう。しかし、新飯塚は飲食店ばかりで、買物する機会がない。本町・東町に誘致できないと「学生が歩くまち」にはならないし、市街地活性化もなくなるのではないか。

▶施設内に産学連携室など学生に関係する部署の設置はどうか。将来は筑豊の4大学が利用する施設にしたいので、近畿大学の名前は出ないほうがいい。

▶スポンサー企業が多ければ交流が増えるし、近くの空き店舗にアンテナショップを入居させる企業もあるかもしれない。商店がスポンサーになれば、学生に魅力のある品揃えなどの提案がしてもらえるかも。商店街は就活カフェを歓迎するのではなく、商売に繋げるように利用してほしい。

▶商店街の総意は取り付けなくても良いが、議会対策も含めて表向きには歓迎してほしい。連合会のお墨付きが必要。就活カフェが動き出したら、元野木書店2Fの活用や学生がまちなかに住むことにも取り組みたい。

次回の委員会は、9月26日(火)19時15分 市民交流プラザ(あいタウン2F)

住み続けたいまち・住んでみたいまち～勝手に提案研究会

会長 六谷 拓也

「新飯塚と本町(中心市街地)をつなぐ(第1段)」

いづかのまちの繋がりを強くするデザイン提案を継続的に考える

美しく整備された遠賀川、歴史のある本町(中心市街地)、博多からの玄関口である新飯塚駅及び新飯塚商店街。私たちの飯塚の町にはこのような魅力的な地域資産があります。

しかし、それぞれが離れていることは、ある意味あたりまえ風景のように感じていませんか？

そのために遠賀川(橋)により隔てられた印象がしてしまい魅力が分散してしまっているような気がしませんか？

- ・この分断された二つのまちの繋がりを強くすることができれば、飯塚のまちとしての一体的な魅力 UP につながるのではないのでしょうか？
- ・JRで新飯塚に来られた方々や学生が川を越えて本町へ行きたくならないだろうか？



**駅前からもう一度視点を改めて考え直してみると
今までと違う気付きができるのでは？**

近畿大学産業理工学部建築デザイン学科 小池 博准教授ゼミ生：大学院生3名及び3年生 10 名、と筑 豊ゼミと一緒に、テーマに対してデザインで解決することを目標に継続的に取り組んでいきます。

今回は、第1段として新飯塚駅から遠賀川周辺までを考えます。

1. スケジュールについて(案) 講義日時は、毎週月曜日午後に行う。(13:20～16:20)

	日付	内容	時間	参加者	場所	備考
①	9/26(月)	まちあるき ディスカッション	13:20～ 16:30～	学生・市民 建築士会など	新飯塚駅～遠賀川～アイ タウン周辺～新飯塚周辺 会場：立岩公民館	集合：立岩 公民館 受 付：13:00～
②	10/02(月)	課題取り組み	13:20～16:30	学生	近畿大学産業理工学部	
③	10/16(月)	課題取り組み	13:20～16:30	学生	近畿大学産業理工学部	
④	10/23(月)	課題取り組み	13:20～16:30	学生	近畿大学産業理工学部	
⑤	10/30(月)	課題取り組み	13:20～16:30	学生	近畿大学産業理工学部	
⑥	11/06(月)	課題取り組み	13:20～16:30	学生	近畿大学産業理工学部	
⑦	11/13(月)	報告会	午後？	学生・市民	市役所 2F 多目的ホール	

10/15(日)新飯塚商店街 ぶらり市にてまちあるき時の資料及び学生の作品展示を行う予定。

10/18(水)筑豊ゼミ 10 月例会にて中間報告会を行う予定。

2. 協力依頼先について ※新飯塚商店街、立岩まちづくり協議会、飯塚市役所
3. まちあるきマップ(策定中)

つかこうへいと筑豊研究会

会長 池田 静子

(休会)

学生ビジネス研究会

会長 安藤 旭信

コーヒープロジェクト：印刷会社の人と直接話し合いをしてパッケージの見積もりとサンプルを作ってもらいました。

9 月にはよいよパッケージが完成して販売に向けて活動していきたいと考えています。

情報交差点

筑豊ゼミ：<http://www.chikuzemi.com/>

e-mail：chair@chikuzemi.com(運営委員長)

：sec@chikuzemi.com(事務局長)

筑豊地域づくりセンター：<http://www.chikuhou-jugaku.org/>

筑豊ゼミホームページ(<http://www.chikuzemi.com/>)のイベントカレンダーもご覧ください

へいちくウォーク：金辺沿い山頭火遊歩道を歩く

9月17日(日)・集合時間：10:00・集合場所：柿下温泉口駅

・所要時間：約2時間・参加費：無料

・申込締切：2017年9月14日(木)

・コース：柿下温泉口駅～総合運動公園～山頭火遊歩道～鶴岡八幡宮～勾金駅

サイエンスモール in 飯塚 2017

9月16日(土)17日(日)・開会式 9:30 会場：飯塚コミュニティセンター

子供たちに科学の面白さ、楽しさ、不思議さを体験してもらいたいという思いから始まった科学イベントです。わくわく・ふしぎがいっぱい！の2日間です。参加無料。

<http://www.iizuka-library.jp/index.html>

http://www.kankou-iizuka.jp/attached_files/event/eve_image/212/201709_650.jpg?1501827680

筑前植木岡分流 大名行列

9月17日(日) 15:00～20:00

出発：植木天満宮

由来：4年に一度開催される行列は、江戸時代の植木が赤間街道の宿駅で、隊妙行列が通っていたことに因みます。参勤交代が廃止された後、明治2年に岡分地区の方々が大名列を再現し、植木天満宮のご神幸祭に奉納しています。(写真は2013年)



<http://chikuzemi.com/?p=2972>

飯塚商店街 9月のイベント情報

●飯まちプレミアム商品券セール

9月26日(火)13時～15時 場所 飯塚商店街界隈

参加費:無料

募集人数:10名(申込み多数の場合は抽選)

「お店は知っているけど入ったことがない」「知らない店には一人じゃ入りにくい」など、行ってみたい店はあるけど、きっかけがなくてそのままになっていませんか？ 商店街ツアーに参加すればみんなで行くので、気兼ねなくお店を見て回れます。今回も街なか案内人のガイドで、5店舗をご案内します。お気軽にご参加下さい。

お申込み・お問い合わせ 飯塚商工会議所TEL 0948-22-1007

飯塚地域会平成29年度第2回「筑豊の建築」セミナー案内

平成29年9月25日(月曜日)

街歩き集合場所 飯塚市立岩公民館 1階ロビー 13時20分から16時00分まで(受付13:00～)

ディスカッション場所 飯塚市立岩公民館 視聴覚室 16時30分から18時30分まで

公益社団法人福岡県建築士会 飯塚地域会 代表 松尾 年勝

飯塚地域会第2回セミナー(景観勉強会)を上記の日程で行います。

飯塚地域会、筑豊ゼミ、近畿大学産業工学部建築デザイン学科の小池博准教授及び学生の皆さんと共同で行います。

「美しく整備された遠賀川、歴史のある本町(中心市街地)、博多からの玄関口である新飯塚駅及び新飯塚商店街、飯塚の町にはこのような魅力的地域資産があります、分断された二つのまちの繋がりを強く出来れば一体的なまちの魅力UPをテーマに、駅からもう一度視点を変えて、考え直してみると今までと違う気付きができるのでは？」

参加費：建築士会員、筑豊ゼミ会員、学生：無料 一般者：1,000円

募集人数：30名程度(申込順)

内容 景観勉強会 (CPD:2単位)

講師 近畿大学産業工学部建築デザイン学科 小池 博 准教授

発行：NPO 法人住学協同機構筑豊地域づくりセンター 第30期筑豊ゼミ

責任者：第30期筑豊ゼミ運営委員長 菊川 清

編集者：第30期筑豊ゼミ運営委員会事務局長 主税 洋三

住所：〒820-8555 飯塚市柏の森 11-6 近畿大学産業理工学部気付 第29期筑豊ゼミ

連絡先：090-9485-5985 (運営委員長 菊川) 090-8624-2886 (事務局長 主税)

e-mail：chair@chikuzemi.com (運営委員長) sec@chikuzemi.com (事務局長)